

データサイエンス副専攻

副専攻は、多様な科目からテーマに合致する授業科目を一つのまとまりを持った学問領域として体系的に構成し、主体的な学びの機会を提供するものです。

データサイエンスは、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」と言われ、統計学やIT、数学、経営学などさまざまな研究分野から成り立つ学問です。私たちは、社会生活のすべてのシーンでデータを使っています。この先も人工知能（AI）の助けを借りながら、社会活動のすべてがデータとして蓄積され、瞬時に解析され、問題があればそれを発見し、対処していく必要があるでしょう。データサイエンスを扱うには、理系の情報などの知見が必要ですが、人文社会系の学問も重要視されています。データサイエンス副専攻は、文理融合を軸とし、これからの社会でよりニーズが高まるデータサイエンスのスキルを身につけることで、さまざまなキャリアへの道を切り拓くことができます。

（1）データサイエンス副専攻 学修の目的

1. 学部を問わず、卒業後の社会で必要とされるデータサイエンスの活用の基礎力を育成すること。
2. データサイエンスの進歩による社会の変化、技術の革新に対応する柔軟な力を養うこと。

（2）データサイエンス副専攻の学修により期待される人物像

【看護学部】

現代医療では、客観的エビデンスに基づくケアが常に求められています。看護の専門職は、対象個人のニーズを捉えて直接ケアする能力とともに、社会の人々が健康を維持・増進したり、疾病からの回復支援や悪化させず共存していくための看護支援を創造する責務を担っています。看護学部副専攻「データサイエンス」では、どのような援助がどのような事象をどの程度改善し、対象となる人々により効果的な看護を提供し得るのか、データ解析が看護の本質の追究にもたらす意義の理解や、既存のデータを看護活動に応用できる基礎的能力を備えた人材を育成します。

（3）副専攻登録

副専攻の課程を履修するには、各年次の履修登録時に所定の副専攻登録を行わなければなりません。課程登録には、特別な費用は必要ありません。

（4）副専攻の修了要件等

データサイエンス副専攻を修了するためには、所属する学部・学科が定める卒業の要件を充足した上で、中級・上級科目2単位を含む12単位以上を修得する必要があります。副専攻を修了した者には、副専攻修了証を交付します。交付を希望する者は、所定の手続きを教務課で行わなければなりません。

データサイエンスカリキュラムマップ 看護学科

入門科目(講義)
 中級科目(Excel)
 上級科目(Excel & SPSS)

教養または専門科目		専門科目								学科
		1年次		2年次		3年次		4年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
統計学	数学	経済データ論 「統計学」前提	経済統計論 「経済データ論」前提	ビジネス表計算 「情報リテラシーA」前提	計量経済分析 「経済統計論」「ビジネス表計算」前提	データ科学 「情報リテラシーA」前提	データ分析Ⅰ 「データ科学」前提	データ分析Ⅱ 「データ分析Ⅰ」前提	データ解析	
情報リテラシーA	情報リテラシーB 「情報リテラシーA」前提					医療情報統計学 「情報リテラシーA」前提	医療情報統計学演習 「情報リテラシーA」前提			看護学科

斜体は必修科目

太字 : 主専攻科目(人文科学系)

細字 : 他学部他学科科目(人文科学系)

太字 : 主専攻科目(理工系)

細字 : 他学部他学科科目(理工系)